



子どもは遊びながら学んでいるのです

今年のお泊り保育は、いつもより早く、7月の初めにありました。今回は青少年野外活動センターで、すいこう認定こども園さんと一緒に交流しながらのお泊りとなりました。自然の中が大好きな子どもたちは、熊野のピオトープに似ている小川や草むらで、かえるや、虫探しに夢中になり、自分たちであそびを考え、ひたすらあそびに没頭していました。子どもたちはあそびの天才だと思うくらい、カエルを素早く捕まえたり、木の実をたくさん集めたり、丸太の切り株を渡りながらジャンケンをしたり、どの場所でも自分がやりたいことを考え、思う存分楽しんでいました。芝滑りも保育園での経験を活かし、体の傾け方を工夫し、バランスを取りながら、園より急な坂道を何度も何度も挑戦していました。自分のことは自分です。グループのお友だちと協力する等、子どもたちの自主性や主体性がぐっと伸びていると感じました。これは、年長になったから急にできることではありません。乳児期までに、言いたいことが言えたり、やりたいことが納得いくまでやらせてもらえることや、大人との関わりの中で、気持ちを受け止めてもらい、楽しさで満たされていること。3歳からは仲間と一緒に考え、工夫しながら非認知能力を磨き、やればできるという成功体験を通して、今何をしたらよいか状況判断できる力が身につけていないと、自主性や主体性は伸びないのです。

7月30日の日に、第4小学校の先生18名が、幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続するというねらいで、各クラス2名ずつに分かれて保育体験をされました。振り返りの時に印象的だった

言葉は、5歳の子たちはやりたいことを選んで集中している。遊ぶというより、色水を探求し、考えながら作っていることに驚きました。ということと、3歳児さんは楽しく遊ぶ中で、簡単なルールが守られていたこと。ブロックあそび等も新たな形に進化させ、発想力のすごさにびっくりしました。この発想力は、5、6年生になると、出しにくくなってしまいますので、この3歳児さんのように自由に発想する力を持ち続けて欲しいなと感じたとも言われていました。

子どもたちは日々、いろんなことに興味関心をもって、観察したり、調べたり、試したり、やってみようとしています。図鑑を出してきて、虫について調べる時に、「先生字が読めないから教えて」と言ってくる子もいます。意欲的にいろんなことを知りたい、おもしろい、やってみたいというところが原点になり、主体的にたくさんのことを吸収していくのです。保育園での様々なあそびや体験が、小学校へ行った時にも、様々な学習に主体的に取り組む子になると思っています。あそびの中でできないことも、解決するまで、粘り強く、とことんやりぬき、失敗や成功を積み重ねながら、非認知能力は育まれていくのです。子どもたちの面白い発想力をしっかり評価し、次への新たな発想につなげるよう、そして、大人になっても自分の自由な思いや考えが実現できる人になるよう、保育園でたくましさ、しなやかさ、ねばり強さを育て、小学校へつなげていきたいと考えています。

くまの・みらい保育園 園長

**お盆**

ご先祖様の霊をお迎えして、供養をする行事です。この日は、亡くなった方々の魂が戻ってくるといわれています。

家族や親せきと一緒に過ごし、仏壇、お墓の前で手を合わせることは、たくさんの人々とのつながりを感じることでできる良い機会です。

**立秋**

(秋の気が初めて立つ)

8月8日ごろ

この日を境に秋の風が吹いてくるとい意味です。

**処暑**

(秋陰の気が増長し、暑気退かんとす)

8月23日ごろ

そろそろ暑さもおさまり、涼しくなるころという意味です。

**お泊り保育**

**自然散策**



大好きな虫かえるがたくさんいたよ **興味関心**

**クッキング**



毎日クッキングしているから、皮むきも包丁も任せて **経験と自信**  
**キャンプファイヤー**

**夕飯のカレーライス**



みんなで食べるとおいしいね! **食欲**

**しばすべり**



何度も繰り返し挑戦したよ **粘り強さ!**

**野菜の収穫**



大きいのをとってお母さんにあげるんだ! **収穫の喜び優しさ**

お泊り保育、ドキドキしたけれど、バスで野外センターに到着すると、楽しいことばかりだったようです。帰るころには、「もう1日泊まりたいくらい!」という子どもたち。保育園でいろんな経験をしているから、場所が変わってもいつも通り取り組みました。みんなと一緒にあったから楽しかったね。



**丸太でじゃんけん**



**仲間意識・楽しさ**



**ゲーム**